

温かい 繋がる 支え合う 学び合う

山梨 YMCA 岡島デイサービスセンター



ぶどうの木

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節



〒400-0031

甲府市丸の内1-21-26

甲斐物産ビル7F

Tel・Fax:055-235-5021

e-mail:grape@alto.ocn.ne.jp

ぶどうの木のご利用につきましては上記まで御相談ください。

ぶどうの木では今

～「第一回運営推進会議」を開催しました～

本年4月から「ぶどうの木」は、「地域密着型通所介護事業所」として再スタートしました。ぶどうの木には、これまで、甲府市を中心とし、隣接する市町村の方もご利用いただいていたのですが、今後新しくご利用いただく方は、甲府市にお住いの方に限られることになりました。これは介護保険法の改正によるものであり、小規模(定員18名以下)の施設は、地域に根差した、地域に親しまれる施設としてサービスを提供するようとの意図があります。「運営推進会議」はぶどうの木が提供するサービスがその基準に則って運営されているかどうかを明らかにし、その質を確保・向上していくことを目的とした条例に基づき設置されました。この会議の委員として、利用者1人、家族2人、地域の代表者1人、地域包括支援センターの代表者1人、有識者1人で構成していただきました。ぶどうの木側からは運営規定や利用者の状況、職員の勤務態勢やボランティアの協力態勢、職員研修の状況等について説明し、ご意見をいただきました。また、利用者の生の声も参考にさせていただきたいと思い、ぶどうの木独自で実施した「ぶどうの木ご利用に関する満足度調査」の集計結果につきましても提示させていた

できました。その結果につきましては別記いたします。今回初めて行った運営推進会議ですが、これまでの職員のみでの運営会議とは違い、ご利用者や家族に加わっていただき、外部から客観的に判断していただく良き機会となりました。具体的な改善点や問題点のご指摘はありませんでしたが、外部からいただきましたお励ましや事業所の内部の状況を外部に知っていただく良き機会となりました。特に地域代表の自治会長様に委員の依頼にまいりました折には、「デイサービスがあることは知っていたが、何をしているところかわからずにいた。」とのこと、地域に開かれた場所には至っていなかったと反省いたしました。今後は、機会ある毎に、「ぶどうの木」の様子やニュースを地域の皆さまにもお伝えし、地域に開かれ、親しまれる施設となれるよう努めてまいります。

この度、推進会議の議長をお引き受けいただきました山梨県立大学看護学部の依田純子先生はじめ、委員をお引き受けくださいました皆様に感謝いたします。

管理者 小野興子

あたたかい手

介護職員 内田 優子

ぶどうの木は、笑顔が自然と生まれる場所。このような素敵な場所を作っているのは、職員とボランティアさんの細やかであたたかな支援の手。そして、利用者の皆さんと家族の方の受け取る手。ひとりひとりに合わせた機能訓練の際に添えられる手。足湯のあとのアロママッサージ。愛情込めて作って下さる料理やお菓子作りのひと手間。一緒に歩く、痛いところをさする手。様々な方の「あたたかい手」がぶどうの木にはたくさんあります。ひとりひとりの想いが「あたたかい手」という形となり、様々に表現されているのです。そして、その想いが相手を思いやることによってより素敵な形となっていくのではないのでしょうか。日本では、介抱することを「手当て」と称することがあります。手を当てて人肌の温もりを誰かに伝えることは、どんな薬よりも体に良いものなのかもしれません。手に触れたり肩に手を置いたりするだけでも十分効果がある。手には癒しの力があるように感じます。

私は、ぶどうの木に勤務するようになりおひとりおひとりの気持ちに触れ、また皆さんの気持ちの込められた「あたたかい手」に触れ、自分の声かけや行動を今まで以上に意識するようになりました。私もあたたかい手当てのできる一員になれるよう努めていきたいと思えます。

ぶどうの木の一員になり早5ヶ月。今日は、いい天気だった。今日は、たくさん笑った。今日も美味しいおやつをいただいた。ささいな出来事を幸せに感じられる日々。そして、素晴らしい先輩方から指導を受けられる身に日々感謝の思いでいっぱいです。この感謝をみなさんにお返しできるようにこれからも頑張っていきます。よろしく願い致します。

— お知らせ —

★ 2016年度ぶどうの木クリスマス会

日時: 12月8日(木) 11:00～

会場: ロイヤル会館

会費: 2500円

今年もみなさんでお祝いしましょう



ぶどうの木満足度調査

ぶどうの木は、3年目の歩みを続けています。職員・ボランティア一同は、援助を提供する者としての自己評価を繰り返しつつ、日々励んできました。しかし、それは援助者としての一方的な評価にすぎませんでした。そこで援助を直接受ける立場にあるご利用者・家族様からの評価をいただき、さらに良き援助につなげていきたいと思い、「ぶどうの木ご利用に関する満足度調査」を実施させていただきました。その概要と結果について以下に報告いたします。

調査期間： 2016.9.1～9.14

回答者： 調査期間中に通所していた利用者または家

族:21名。全員から回答を得た。

調査方法： 設問9項目を独自に設定し、選択肢はa大変満足、bほぼ満足、c普通、dやや不満足、e不満足の5段階とし、項目ごとに自由記述の意見も求めた。なお、忌憚のないご意見をいただくため、またプライバシー保護のために無記名とし、回収箱により回収、集計についても部外者に依頼した。

結果のまとめ:(左図参照)

9項目すべてについて50%以上の者が満足(大変満足・ほぼ満足)であると回答した。特に80%以上の満足度を得た項目は「看護師や介護職員の援助」「ボランティアの援助」「昼食・お茶・おやつ」「送迎」であった。9項目のいずれの項目も不満足と回答した者はなく、「室内外の環境」「朝の体操」についてそれぞれ1名ずつが「やや不満足」と回答した。理由は環境については、「もう少し広いとよい」であり、朝の体操は「入浴と時間が重なる」であった。入浴時間の調整により、早速、改善した。

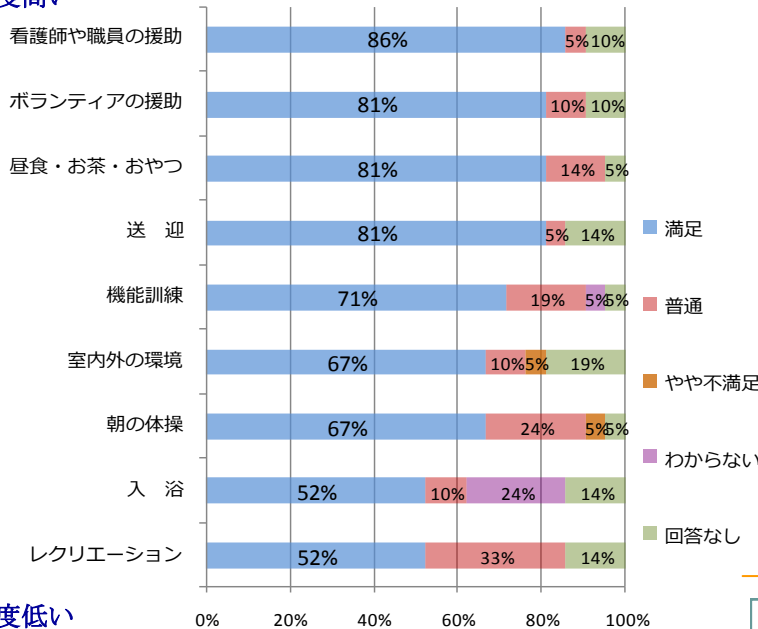
「入浴」については52%と満足度は低かったが、入浴していない者(自宅で入浴している)も含まれての割合である。ぶどうの木で入浴している者に占める満足度は69%であった。「家での入浴は大変。本当に助かる」「親身になってのボディチェックに感謝」等の記述が多かった。満足、不満足等の尺度に対する回答は未記入の者があったが、各項目に具体的な記述で回答しており、

「ありがたい」「本人も満足していると思う」等、本人の意志の確認が困難である方の回答であると判断した。満足度の低かった「レクリエーション」については、麻雀、囲碁等の相手を求める者があり、今後はボランティア等による対応を工夫していきたい。記述による回答には、「土日・祭日の営業」や「ショートステイの開設」を求める声があり、今後の課題も明らかとなった。

以上、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。「満足」とご回答くださいました多くのご利用者の声に励まされ、具体的にご意見に対しては検討し、改善点を見出しつつ、皆様にとってのより良き施設へと発展できるよう努力してまいります。ありがとうございました。

(小野興子)

満足度高い



満足度低い

ボランティア便り⑤

実り多いとき

横山 裕子

私は、午前の時間にさおり(織物)・ちぎり絵カード作り・歌等その時々で利用者さんと共に楽しんでおります。

何をする時にも話が一方通行にならないように、できるだけ利用者さんからの発言があるように心がけております。例えば、歌の時に「リンゴの唄」を歌った後、「この歌は戦後の暗い時代に皆の心を明るくしてくれてとても良かったのよ。」「歌手は霧島昇で、ハンサムな人よ。」「直立不動で歌っていたわ。」等と、それぞれが当時を思い出しながら話が弾みました。また、普段は参加することなく、歌も歌われず聴くだけの男性利用者さんが「故郷」の曲になった時、一緒に大きな声で歌い出されたことはとても印象に残っております。

ぶどうの木で過ごす時間は、スタッフやボランティアの皆様、たくさんの利用者の方々と触れ合うことができますとても実りの多い貴重な時間です。これからも皆様とより充実した時をご一緒できますように願っております。

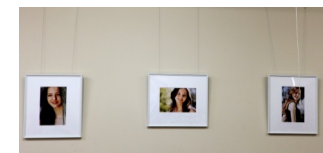
ぶどうの木

ギャラリー

・7月28日～8月26日
弦田康子氏(書道)



・8月26日～
千頭和寿子氏(写真)



かき氷(7月～8月)

・職員がかき氷づくり
氷が食べられるとは思わなかったと利用者さんの歓声。

ミニ料理教室(9月)

・芋餅づくり、
・サツマイモと栗の茶巾絞り
午前中に作り、おやつに美味しくいただきました。

